

IAIS 市中協議文書「ICS 関連 ComFrame 基準」に意見提出

日本損害保険協会(会長：船曳 真一郎)は、保険監督者国際機構(IAIS)が2025年11月21日から2026年2月5日にかけて市中協議に付した「保険資本基準(ICS)関連の共通枠組み(ComFrame)(※1)基準」に対する意見を提出しました。当該概要は以下の通りです(詳細は添付1をご参照ください)。

1. 市中協議の概要

- ・ IAISは、2024年12月にICSを採択した上で、具体的な監督報告および情報開示要件の整備を進めている。この一環として、監督報告と情報開示要件を保険基本原則(ICP)のComFrame 9.4(監督報告)、およびComFrame 20.10(情報開示)を改定し、今般、市中協議に付している。
- ・ 加えて、IAISは、ICS評価手法に監督報告、および情報開示に関するComFrame基準も含めることを決議し、これを踏まえ、ICP、およびComFrame序文におけるComFrame評価方法論セクションに新たな段落(セクション47)を追加し、市中協議に付している。

2. 損保協会意見の概要(抜粋)(詳細は添付1ご参照)

- ・ 今回示されたComFrame9.4の監督報告要件は、ICS採択後に求められる報告枠組みを体系的に整理し、IAIG(国際的に活動する保険グループ)の資本十分性やリスクプロファイルの把握に必要な情報を明確化している点を支持する。ICPのイントロダクションの「プロポーショナルリティ、およびリスクベースの監督」にも記載のとおり、監督報告はプロポーショナルリティ原則に基づくことを改めて確認したい。
- ・ ComFrame20.10に関し、ICSに関する情報を公開開示として体系的に整理した点、およびComFrame 9.4との整合性が図られている点を評価する。また、公開開示についても、同じくプロポーショナルリティ原則に基づくことを改めて確認する。過度に詳細な開示が一律に求められることのないよう、監督目的に照らした有用性と実務負担のバランス、およびICP 20.0.11、20.0.12に定める専有情報、および機密情報の扱いを考慮した適切な運用を期待する。

当協会は、IAISにおける国際保険監督基準策定の議論に積極的に参加しており、今後も市中協議等に際して本邦業界の意見を表明して参ります。

(※1) 共通枠組み(ComFrame)

保険基本原則(ICP)を基盤とし、IAIGの効果的なグループ全体監督に特化した監督基準とガイダンス。

No.	質問(仮訳)	損保協会意見(和文)	損保協会意見(英文)
1	導入ガイダンスに関する一般的なコメント	今回示された CF 9.4 の監督報告要件が、ICS 採択後に必要となる報告枠組みを体系的に整理し、IAIG の資本十分性・リスクプロファイル把握に必要な情報を明確化している点を支持する。ICP のイントロダクションの「プロポーショナリティおよびリスクベースの監督」にも記載のとおり、監督報告はプロポーショナリティ原則に基づくことを念のため確認させていただきたい。	We support the supervisory reporting requirements outlined in CF 9.4, as they systematically organize the reporting framework necessary following ICS adoption, and clarify the information required for supervisors to assess capital adequacy and risk profiles of IAIGs. As stated in the ICP Introduction under "Proportionality and risk-based supervision", we would like to confirm that supervisory reporting is indeed based on the principle of proportionality.
6	ガイダンス ICP CF 9.4.a.2 に関するコメント	当該ガイダンス 2 文目の「More frequent regular reporting could also be required to enable effective supervision.」について、より頻繁な定期報告が常に効果的な監督を可能にするわけではなく、あくまで各法域の状況に応じて判断されるものであることを明確にするため、以下の通り修文いただきたい。 修正案：If appropriate, more frequent regular reporting could also be required to enable effective supervision.	Regarding the second sentence of the guidance, "More frequent regular reporting could also be required to enable effective supervision". To make it clear that more frequent regular reporting does not necessarily enable effective supervision, and that it should be determined based on the circumstances of each jurisdiction, we propose the following revision: If appropriate, more frequent regular reporting could also be required to enable effective supervision.
40	導入ガイダンスに関する一般的なコメント	ICS に関する情報を体系的に公開開示として整理した点、および監督報告 (CF 9.4) との整合性が図られている点を評価する。ICP のイントロダクションの「プロポーショナリティおよびリスクベースの監督」にも記載のとおり、公開開示はプロポーショナリティ原則に基づくことを念のため確認させていただきたい。過度に詳細な開示が一律に求められることのないよう、監督目的に照らした有用性と実務負担のバランスおよび ICP 20.0.11、20.0.12 に定める専有情報および機密情報の扱いを考慮した適切な運用を期待する。	We appreciate the systematic organization of ICS-related information as public disclosure and its alignment with supervisory reporting (CF 9.4). As stated in the ICP introduction under "Proportionality and risk-based supervision," we would like to confirm that public disclosure is based on the principle of proportionality. Furthermore, we expect appropriate implementation that balances the usefulness for supervisory purposes against the practical burden, and considers the treatment of proprietary and confidential information as defined in ICP 20.0.11 and 20.0.12, to ensure that overly detailed disclosure is not

			uniformly required.
68	基準およびガイダンス ICP CF 20.10.h (内部モデルに基づく ICS 資本要件に関する情報の開示) に関する一般的なコメント	内部モデルの仕様は経営上の機密情報に該当する部分もあり、詳細な情報を公に開示することは難しい場合がある点、配慮いただきたい。ICP 20.0.11 および 20.0.12 にて、専有(proprietary)情報や機密(confidential)情報の保護と、有意義な開示の適切なバランスをとるべきとあるが、本件についても該当することを確認したい。	We appreciate your understanding that disclosing detailed information regarding the specifications of the internal models may be difficult in some cases, as certain aspects constitute confidential business information. While ICP 20.0.11 and 20.0.12 state that an appropriate balance should be struck between protecting proprietary and confidential information and making meaningful disclosures, we would like to confirm that these provisions also apply to this matter.
71	ガイダンス ICP CF 20.10.h.2 に関するコメント	CF 9.4.h と平仄を揃える観点で、「the IAIG」を「the Head of the IAIG」へ修正いただきたい。 修正案：Additionally, the group-wide supervisor may require the Head of the IAIG to disclose the approved internal model's scope and the differences with the ICS standard method's underlying assumptions when possible.	For consistency with CF 9.4.h, we propose revising "the IAIG" to "the Head of the IAIG".